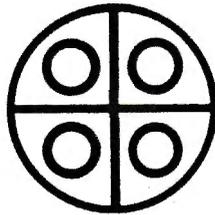


ホビの予言のエッセンス

THE ESSENCE OF HOPI PROPHECY



ホピの予言は、その全体を語るのに普通幾日もかかり、これまで何代もの人生にわたって徹底的に理解されてきている。そのなかでも一番重要なポイントだけを、ここには短くまとめておいた。

いのち 生命のバランス

いのちの生命の担い手として、わたしたちは自然のバランスに影響を与えている。偉大なる自然のサイクルに繁栄をもたらすか、それとも、大きな災難をこうむるかは、ひとえに、わたしたち自身が何をするかにかかっている。わたしたちの暮らしているこの世界は、つまり、わたしたちの行動様式のひとつの顕れにすぎないのだ。

自然界のバランスからのわたしたちの分離は、わたしたちが今現在どういう状態で存在しているかを浮きぼりにしている。かつてわたしたちは意のままに顕れたり、消えたりすることが出来た。けれども、わたしたち自身のごう慢さにより、わたしたちに与えられたこの物を産みだす力をいつのまにかあたりまえのものとして、いつしか創造主の立てられた計画を無視するようになった。その結果、わたしたちはこのからだ、物質のひとつの形に固執しはじめ、いつしか自らの「賢いけれど無器用な」左半分と「器用で力があるけれど賢くない」右半分との、果てしのない戦いにまきこまれ、本来の目的を忘れてしまうはめに落ちいった。

世界のサイクル

あきらかに自滅的な、この自然からの分離は、歴史の一切の流れをとおして、いくつもの世界を、これまでも支配してきている。自然のサイクルにともなって生活資源が消滅するたびに、わたしたちは自らの発明によって状況を改善しようと試みてきた。いかなる失敗であれ、それ以上の発明によって過ちを正すことが出来ると信じてここまできたのだ。あまりに頭がいいために、わたしたちのほとんどは本来の目的を見失ってしまい、自分が勝手に凶面を引いた世界にどっぷりと呑みこまれていき、結局、宇宙の秩序そのものに逆らうようになって、生存の鍵を握るごく少数の人たちに対して、こころない敵になっていった。

The entire Hopi prophecy usually takes many days to tell, and many lifetimes to fully understand. This is a short summary of essential points.

The Balance of Life

As caretakers of life we affect the balance of nature to such a degree that our own actions determine whether the great cycles of nature bring prosperity or disaster. Our present world is the unfoldment of a pattern we set in motion.

Our divergence from the natural balance is traced to a point preceding the existence of our present physical form. Once we were able to appear and disappear at will, but through our own arrogance we took our procreative powers for granted and neglected the plan of the creator. As a consequence we became stuck in our physical form, dominated by a continual struggle between our left and right sides, the left being wise but clumsy, and the right being clever and powerful but unwise, forgetful of our original purpose.

The Cycle of Worlds

This suicidal split was to govern the entire course of our history through world after world.

As life resources diminished in accord with the cycles of nature, we would try to better our situation through our own inventions, believing that any mistakes could be corrected through further inventions. In our cleverness, most of us would lose sight of our original purpose, become involved in a world of our own design, and ultimately oppose the order of the universe itself, becoming the mindless enemy of the few who would still hold the key to survival.

In several previous worlds the majority have advanced their technology in this way, even beyond what we know to-

これまでの世界のいくつかにおいて、大多数の人々はこうしてテクノロジーを進歩させてきた。なかには今のわたしたちにすら理解出来ないほどテクノロジーを進歩させたこともあったのだ。自然とそれに従う人々に対する冒瀆は、ひどくバランスそのものを崩し、戦争、社会の崩壊、自然の大破局といったものを引き起こすことになっていった。

どちらの世界も、一瞬のうちに全滅するかもしれないという時にいたって、ここにひとつの小さな少数派のグループが残された。彼らはほとんど完べきなまでに永遠なる計画と共に生きており、その生き方のために、彼らは「ホピ」と呼ばれている。世界の最終段階が近づくに従って、彼らを世界の残りに従わせようと強いる外からの誘惑や強迫と同じように、ホピは自らの内にも、崩壊の兆しを見付け出すことになっている。

わたしたちの今の世界

前の世界が破滅しなくてはならなくなったとき、わたしたちの共通の祖先たちは、奇跡的に今の世界に逃げのびてきたいくつかのグループのなかのひとつであるにもかかわらず、今ここに至って又、彼らは再び墮落に毒されつつある。しかしわたしたちが今日直面するこれらの危機の種は、もともとわたしたちが最初にこの世界に足を踏み入れた時に、すでに一緒についてきてしまったものだった。

今のこの世界に辿り着くと、わたしたちのご先祖様たちは、救世主としてわたしたちの前に現われるグレイトスピリットに出会うために、それぞれ長い旅にでることになった。そのお方はこの大地とその上に生きるすべてのものの世話をすることになっていた。たとえいかに厳しい前兆がそれぞれの旅をばらばらにする必要があったとしても、あまりにも乱れきったこのバランスをとりもどすために、かならずその日が来ることを彼らはあらかじめ見とおして、特別なパターンに従ったのだった。

ホワイト・ブラザー 本当の白い兄弟

明るい顔色をしたホピのことは、今では「本当の白い兄弟」として知られている。彼は一族のもとを離れ、遠く太陽の昇る方に向かって旅立っていった。その時彼はひとつの石板を携えていったのだ。その石板は、オライビとして

day. The consequent violations against nature and fellow humans caused severe imbalances which were resolved in the form of war, social disintegration and natural catastrophe.

As each world reached the brink of annihilation, there remained a small minority who had managed to live in nearly complete accord with the infinite plan, as implied in the name, Hopi. Toward the final stages they would find themselves beset with signs of disintegration within, as well as enticing offers and severe threats from without, aimed toward forcing them to join the rest of the world.

Our Present World

Our common ancestors were among the small group who miraculously emerged from the last world as it reached its destruction, though they too were tainted with corruption. The seeds of the crisis we face today were brought with us when we first set foot in this world.

Upon reaching our present world, our ancestors set out on a long migration to meet the Great Spirit in the form of Maasauu, the caretaker of this land and all that lives upon it. They followed a special pattern, however a very serious omen made a separate journey necessary, in order to balance the extreme disorder anticipated for the latter days.

The True White Brother

A Hopi of light complexion, now known as the "true white brother," left the group and travelled in the direction of the rising sun, taking with him a stone tablet which matches a similar tablet held by one of those who went on to meet Maasauu at a place called Oraibi, where the present Hopi villages were established according to his instructions.

The Hopi anticipated the

知られる場所でマーサウと出会うことになった者たちが持っていたのと同じものだった。このオライビという今あるホピの村は、その時マーサウの指示に従って基盤が造られた。

だから今でもホピの人たちは、明るい肌の色をした人たちが東からやって来ることを確信している。その人たちが造り出す多くの物をホピはあらかじめ予言しており、それをちくいち古代より伝わる教えに照らし合わせることで、その時その時が今いかなるパターンの上にあるかを、彼らははっきりと認識出来る。そのパターンに照らし合わせて見ると、やって来る者が、頭のよさのなかに本来の目的を見失いつつある者たちであるかもしれないことは、あらかじめよく判っていたことだった。そうなることは大変に危険なことなのだ。だからスピリチュアルな道の上をけっして離れることなく、本当の石板を携えてくるひとりの人間のことを、ホピはこれまで、じっと探し求めて来た。

スワスティカと太陽

数えきれないほどの世紀を通して、ホピは彼らの儀式的なかに前の世界のことを、われわれが今の世界にやって来た時のことを、そして、われわれが一体なんの目的のためにこの世界にやってきたのかを、常に呼びさましてきた。ことあるごとに彼らは、シンプルで謙虚な生き方を進んですることで、マーサウへの誓いを新たにし、すべての生きとし生けるものために、自然のバランスをこれまで守り続けてきた。この世界で起こりつつある出来事は、今がどのような時であるかを常に見守ってきたごく一部の秘密の宗教家グループの間で、これまで語りつがれてきた。

彼ら指導者たちはこれまで、世界を揺るがすことになる特に三つの出来事に注目してきた。それら三つの出来事のなかに、天候異変や地震、土地を失う人たち、そして戦争と言った地球を揺り動かす天変地異の種の発芽から、あらゆる生命を統一する根本的な力の登場を明らかに告げているシンボルを、彼らは見たのだ。

そのシンボルを解く鍵は、われわれの楽器である瓢箪のガラガラにあった。ガラガラそのものは力の種の事を意味しており、特定の儀式的なかでそのガラガラを振り鳴らすことは、だから、生きる力の躍動を表わしていた。ガラガラの上には古代からのシンボルである鍵十字が描かれてあった。ひとつの種から四つの方向に向かって発芽し、渦巻き状に広がりつつあるある種の力を鍵十字は指し示し、その全体をまるく取り囲んでいる赤い火の輪は、中心の種を発芽させて大きく育てるためにジワジワと射し込みつつある太陽の熱の暖かさを表わしている。

かくして世界を揺るがした最初の二つの大事件は、鍵十

arrival of a race of light-skinned people from the east, predicting many of their inventions, which would serve as signs indicating certain stages in the unfoldment of the pattern the Hopi had studied from antiquity. It was clearly foreseen that the visitors, in their cleverness, might lose sight of their original purpose, in which case they would be very dangerous. Still the Hopi were to watch for one who has not left the spiritual path, and carries the actual stone tablet.

The Swastika and the Sun

Through countless centuries the Hopi have recalled in their ceremonies the previous worlds, our emergence to the present world, and our purpose in coming here. Periodically they have renewed their vow with Maasauu to live the simple, humble way of life he laid out for them, and to preserve the balance of nature for the sake of all living things. The knowledge of world events has been handed down in secret religious societies who keep watch as each stage unfolds.

The leaders watched especially for a series of three world-shaking events, accompanied by the appearance of certain symbols that describe the primordial forces that govern all life, from the sprouting of a seed to global movements such as weather, earthquakes, migrations and wars.

The gourd rattle is a key symbol. A gourd signifies seed force. The shaking of the gourd rattle in ceremonies means the stirring of life forces. On the rattle are drawn the ancient symbols of the swastika, showing the spirals of force sprouting from a seed in four directions, surrounded by a ring of red fire, showing the encircling penetration of the sun's warmth which causes the seed to sprout and

字と太陽によって象徴される二つの力を巻き込むこととなった。最初の暴力と破壊のなかから、さらに大きな次の、二番目の出来事を引き起こすもっとも強力な要因がもたらされた。現実のシンボルがふたつ出現して、予言のこの段階が遂行されたことがやがて明らかになったのだ。

灰のぎっしりつまったヒョウタン

とうとう「灰のぎっしりつまったヒョウタン」が発明されることになった。それが空から落ちたあかつきには、海は煮えたぎり、大地は焼けただけ、何年もの間そこには何ひとつ育たなくなるだろう。これはある種のホビの人たちにもたらされた合図のひとつかもしれない。教えを広め、世界に警告をしなくてはならなくなったのだ。もし、自分自らを正し、時にかなった指導者を選ぶ事が出来なければ、全生命が破滅してしまうかもしれない第三の、そして決定的な最後の事件がすぐそこまで差し迫りつつあるようなのだ。

ここに表わされた最初の二つの事件が、第一次と第二次のふたつの世界大戦であったと、ホビの指導者たちは今では信じている。「灰のぎっしりつまったヒョウタン」とは、原子爆弾のことだった。ヒロシマとナガサキに原爆が落とされた後、それまで密かに守られてきた教えのいくつかが比較検討され、世界に向かって公開されることになったのだ。ここに記されてあるのは、それらの教えの一部である。

浄化の日

最終の段階のことは「偉大なる浄化の日」と呼ばれている。これも又、その内側に鍵十字と太陽の二つの力、および三つめの、赤の色に象徴される力を合わせ持つ「神秘の卵」として、これまで描かれてきた。これら三つの力がそれぞれ極をきわめたとき、ものみな全てことごとくがよみがえるのか、はたまた一切ことごとくが滅び去ってしまうのか、わたしたちにはまだ、その答えを知ることが出来ない。復活か滅亡か、それを選らぶのはほかならぬわたしたちなのである。戦争や、さらには天変地異までもが起ころう。自然のバランスと人間の世界との不均衡の度合いに応じて、暴力の程度は決定されるはずだ。このような危

grow.

The first two world-shaking events would involve the forces portrayed by the swastika and the sun. Out of the violence and destruction of the first, the strongest elements would emerge with still greater force to produce the second event. When the actual symbols appeared it would be clear that this stage of the prophecy was being fulfilled.

The Gourd Full of Ashes

Eventually a "gourd full of ashes" would be invented, which if dropped from the sky would boil the oceans and burn the land, causing nothing to grow there for many years. This would be the signal for a certain Hopi to bring out his teachings in order to warn the world that the third and final event would happen soon, and that it could bring an end to all life unless people correct themselves and their leaders in time.

Hopi leaders now believe the first two events were the first and second world wars, and the "gourd full of ashes" is the atomic bomb. After the bombing of Hiroshima and Nagasaki, teachings formerly kept secret were compared and released to the world. The details presented here are part of those teachings.

The Day of Purification

The final stage, called the "great day of purification," has also been described as a "mystery egg," in which the forces of the swastika and the sun, plus a third force symbolized by the color red, culminate either in total rebirth, or total annihilation—we don't yet know which, but the choice is ours. War and natural catastrophe may be involved. The degree of violence will be determined by the degree of inequity caused among the peoples of the world and in the balance of nature. In this crisis, rich and poor will be forced

機の時においては、金持ちもまた貧乏人も、平等に、生存のための戦いに加わらざるをえなくなる。

伝統的だとされるホピの人たちのなかにすら、今日のように暴力を当り前のものだと考える者が圧倒的に多いことからみても、それは大変な争いになることが予想される。しかし、人間は、自然や同じ仲間たちの取り扱い方を正すことで、あらかじめその時の暴力の度合いをかなり減らす事が出来るはずだ。太古より伝わる精神的なものを基盤にしたところの共同体、例えばホピのその様なものは、特に念をいれて守られるべきである。彼らがうやうやしく頭を下げて守り続けてきた、賢い人間として生きるための道や自然を、無理矢理あきらめさせるようなことがあってはならない。

人間の運命

ホピは、人間という種族の生存の鍵を握っている。彼らが見えざる力（複数）との生き生きとした霊的交流をとおして自然のバランスを保ってきたのは、人間の造り出した自滅するだけのシステムに変わる、実際に効果のあるやり方、オールタナティブを例示するためと、世界で起こることの全責任をそこで引き受けるためである。この構造は単純なのだ。「全世界がやがて激しく揺れ動き、そして赤く染まり、ホピを邪魔する者たちに背を向けるようになる」というだけのことである。

人間の造ったシステムが現在ホピを駆逐しようとしていることと、この世界中で同じような神聖なものに対する冒瀆が蔓延していることとは、深い繋がりがあがる。いくつもの予言のなかに記されたこうした壊滅的な大逆転は、単に自然の秩序の一部分にすぎない。今あるシステムによってお金をしこたま儲けている人たちが、そのお金と法律とによって、ホピの破壊を止めさせることが出来たなら、その時には浄化の日に、たくさんのもたちが生き延びることも可能となり、新しい平安の時代がそれに続くだろう。だが、しかし、もし誰もはやホピの道を歩き続ける者がいなくなるようなことにでもなれば、そのような時代を望んだところでなんの意味もない。

わたしたちが立ち向かわねばならない力は、それぞれが恐るべきものだ。しかし、残るただひとつの道は滅亡だけである。今もって人間の造り出したシステムがなんとしても正されようとしなないのは、そのシステムそのものが一人の人間の意志を他の者に押し付けることでなりたっているためであり、問題の源もまさにここにある。もし人々が自らを、さらにその指導者たちを正そうとするなら、その両者の間の広い隔たりが消えてなくならなくてはならない。

to struggle as equals to survive.

That it will be very violent is now almost taken for granted among traditional Hopi, but man may still lessen the violence by correcting his treatment of nature and fellow man. Ancient spiritually-based communities, such as the Hopi, must especially be preserved and not forced to abandon their wise way of life and the natural resources they have vowed to protect.

The Fate of Mankind

The Hopi play a key role in the survival of the human race, through their vital communion with the unseen forces that hold nature in balance, as an example of a practical alternative to the suicidal man-made system, and as a fulcrum of world events. The pattern is simple. "The whole world will shake and turn red and turn against those who are hindering the Hopi."

The man-made system now destroying Hopi is deeply involved in similar violations throughout the world. The devastating reversal predicted in the prophecies is part of the natural order. If those who thrive from that system, its money and its laws, can manage to stop it from destroying Hopi, then many may be able to survive the day of purification and enter a new age of peace. But if no one is left to continue the Hopi Way, then the hope for such an age is in vain.

The forces we must face are formidable, but the only alternative is annihilation. Still the man-made system cannot be corrected by any means that requires one's will to be forced upon another, for that is the source of the problem. If people are to correct themselves and their leaders, the gulf between the two must disappear. To accomplish this one can only rely

それを成し遂げるためには、人間はひたすら本当のこと、ただそのことのみに向かう^き気の流れだけを信頼すれば良いのである。

このようなやり方は、ホピのウエイ・オブ・ライフ、ホピとして生きる道の基礎であり、死すべき運命にある人間が直面しうる最も偉大なる挑戦でもある。この生き方を受け入れる人は少ないかもしれない。だが、ひとたびこの基盤の上に平和が確立されるならば、そうしてわたしたちに初めから伝わる^{ウェイ・オブ・ライフ}人生の道、この生き方を盛り立てていくことが出来るなら、人間は自らの発明の能力を賢く使うことが出来るようになるだろう。恐れ、脅えの人生ではなく、互いに励まし合うようになるはずだ。他人の犠牲の上に立ってごく少数の者が利益を得るよりは、全員が潤うようになるだろう。こうした、人間の個人的な関心事を遥かに越えたところで、一切の生命あるものたちにとってさえも、未だかつていちどたりとも実現されたことがないほどの大きな幸せが訪れる。かくしてすべて生きてあるものたちは、調和の内^{うち}にいつまでも栄えるようになるのだ。

on the energy of truth itself.

This approach, which is the foundation of the Hopi way of life, is the greatest challenge a mortal can face. Few are likely to accept it. But once peace is established on this basis, and our original way of life is allowed to flourish, we will be able to use our inventive capacity wisely, to encourage rather than threaten life, and benefit everyone rather than giving advantage to a few at the expense of others. Concern for all living things will far surpass personal concerns, bringing greater happiness than could formerly be realized. Then all living things shall enjoy lasting harmony.

Written by Thomas V. Tarbet, Jr., and reviewed by a traditional messenger.
All rights concerning this publication are reserved by the author, with the exception that it may be copied or transmitted by any means, provided nothing is added or deleted, and provided it is not sold.

IF YOU VALUE THE DESTINY OF FUTURE GENERATIONS MORE THAN PERSONAL WELFARE, PLEASE MAKE SURVIVAL OF THE HOPI WAY YOUR PRIMARY CONCERN, AND LET THE SUCCESSFUL RESOLUTION OF THEIR PLIGHT AT THE HANDS OF THE INDUSTRIAL WORLD BE YOUR PERSONAL RESPONSIBILITY AND GREATEST PLEASURE.

For Further Information
or free copies of this leaflet,
send a self-addressed stamped
envelope to:

LAND&LIFE - JAPAN %MIYATA
3-6-2 Yoshida Shinmachi Kawagoe
Saitama TEL (0492) 32-3521

Hopi Contacts
Techqua Ikachi Publications
Box 174
Hotevilla, Arizona 86030

Thomas Banyacya, interpreter
Box 112
Orabi, Arizona 86039

PAID FOR THROUGH VOLUNTARY CONTRIBUTIONS

◎このホピの予言のエッセンスはトーマス・V・ターベット、ジュニア (Thomas V. Tarbet, Jr.) が文章化し、ひとりのある伝統的なメッセンジャーの検閲を受けている。この文章の印刷出版に関するいっさいの権利は、著者が有しているが、そのままコピーするか、いかなるかたちであれこの全文を伝えようとする限りにおいて、特にこれを例外とする。ただしその場合でも、なにかを書き加えたり、どこかを削除したりすること、及びこのホピの予言のエッセンスが売られるようなことがあってはならない。

もしあなたが個人的な繁栄よりも、未来の世代がどうなっていくかということに、ひとかたならぬ関心をお持ちであるなら、どうか、ホピの道を生存させるということを常に頭の隅に置いておいていただきたい。そして、工業化した世界によってもたらされたホピの人々の窮状を、あなたの個人的な責任と、最大なる喜びとを持ちつつ、なにとぞ良い方向で解決させていただきたい。

このホピの予言について更によく知りたいと思いの方は、下記のランド・アンド・ライフ・ジャパンまで、あなたの氏名・住所・年齢・性別・電話番号をお書きのうえ、送料 (220 円切手) を添えて必ずお手紙で、ご連絡ください。ホピの予言について更に詳しい小冊子「ホピ・ティーチング——いのちの始まりから浄化の日まで」をお分けします。



ランド・アンド・ライフ・ジャパン
埼玉県川越市吉田新町 3の6の2
宮田 雪 方
TEL: 0492-32-3521